

表4-1 抑うつとサポートネットワークー横断研究

著者	対象	抑うつ尺度	サポートとネットワークの指標	抑うつとの関連
O'hara, et al. ²²⁾ 1985	アイオワ州在住の 65-105歳の高齢者 3159人	CES-D RDC(うつ 病診断 基準)	1)婚姻状態 (配偶者あり、死別、離別、非婚) 2)居住形態 (一人暮らし、同居者あり)	解析: 抑うつを示す人の割合を各要因 別に比較し、カイニ乗検定 CES-D(CES-D>16)との関連項目 女性である、一人暮らし 配偶者と死別/離別している 低学歴、低収入である 関連のない項目: 年齢、居住地域 RDC(基準満たす)との関連項目 一人暮らし、低収入である 関連のない項目: 年齢、性別、 婚姻形態、教育歴
Dean, et al. ²³⁾ 1990	ニューヨーク州在住 の50歳以上の997人	CES-D	配偶者、子ども、親戚、友人について、 次の5項目の頻度(0-2)を評定 1)好意を示してくれたか 2)元気がないとき心配してくれたか 3)一緒に楽しい時を過ごしたか 4)悪いことが起きたとき助けてくれたか 5)病気の時心配してくれたか	解析: 抑うつと各変数との重回帰分析 関連のある項目 配偶者と友人からのサポート少ない 女性である、ADLが低い ストレスフルな出来事の実験多い 経済的に困難である 関連のない項目 年齢、子どもと親戚からのサポート ストレスとサポートの交互作用
Blazer, et al. ²⁴⁾ 1991	ピエドモント在住の 65歳以上の高齢者 3998人	CES-D	ソーシャルサポートの指標 1)婚姻状態(結婚している、していない) 2)近くに住んでいる親戚の数	解析: 抑うつと各変数との重回帰分析 関連のある項目 女性である、結婚していない ADLが低い、低収入である 親戚の数少ない 年齢(高齢なほど抑うつ得点低い) 関連のない項目 性別、人種、居住地域
Husaini, et al. ²⁵⁾ 1991	テネシー在住の 55~85歳の黒人 600人	CES-D	1)親戚、友人との接触頻度 2)過去5年間における親友の数の変化 3)主観的ソーシャルサポート a)感情的に強く結ばれている人 b)一緒に社会的活動をする人 c)自分の能力を認めてくれる人 d)必要なとき助けてくれる人 e)人生の重大な決断について話せる人 f)幸せにする責任がある人	解析: 抑うつと各変数との重回帰分析 男女とも関連: 慢性疾患の数多い poor ego 男性について 関連のない項目: ライフイベント数、 サポートに関する項目 女性について 関連項目 親戚や友人との接触少ない 主観的サポートの得点低い 関連のない項目: ライフイベント数、 親友数の変化 ※教育歴、婚姻形態で調整

表4-2 抑うつとサポートネットワーク横断研究(続き)

著者	対象	抑うつ尺度	サポートとネットワークの指標	抑うつとの関連
La Gory, ²⁶⁾ & Fitzpatrick 1992	アラバマ在住の 55歳以上の725人	CES-D	ソーシャルサポートの指標 1)友人や親戚を訪問する頻度 2)友人や親戚が訪問してくれる頻度 3)友人や親戚への電話や手紙の頻度 4)友人や親戚に会う頻度 得点範囲:4-32	解析:抑うつと各変数との重回帰分析 関連のある項目 白人である、女性である 教育年数低い、ADLが低い 近隣へのアクセスしにくい 居住環境への不満大きい 年齢(高齢なほど抑うつ得点低い) 関連のない項目 収入、ソーシャルサポート、 居住地域の特色(高齢者率など)
Mitchell, et al. ²⁷⁾ 1993	ニューキャロライナ 在住の65歳以上の 高齢者868人	GDS	ソーシャルサポートの指標 1)子供または孫からのサポート 2)それ以外のサポート 社会的接触の頻度 1)友人、近隣、子や孫との接触頻度 2)友人、近隣、子や孫との電話の頻度	解析:抑うつと各変数との重回帰分析 関連のある項目 教育年数短い、識字力低い、 IADLが低い、宗教的介入あり ソーシャルサポート多い(逆方向) サポートとIADLの交互作用 関連のない項目 年齢、人種、居住地域、ADL、 社会的接触、収入、聴力障害
Bazargan, & Baugh ²⁸⁾ 1995	ニューオーリンズ 在住の62-96歳の 黒人高齢者1022人	CES-D	ソーシャルサポートに関する13項目 1)子ども、孫、兄弟、友人の数、接触頻度、 関係への満足度 2)病気のときに得られる手段的サポート 3)信頼できる人の有無 4)手段的サポート(移動、経済的など) →因子分析によって得られた5因子 子ども、友人、兄弟、信頼できる人から のサポート、手段的サポート	解析:抑うつと各変数との重回帰分析 関連のある項目 女性である、教育年数短い、 経済的に困難、ライフイベント多い、 友人からのサポート少ない、 手段的サポート少ない、 慢性疾患の数多い 自己評価低い 関連のない項目 年齢、婚姻状態、子ども・兄弟・ 信頼できる人からのサポート、
Okwumabua, et al. ²⁹⁾ 1997	西テネシー在住の 60歳以上のアフリカ 系アメリカ人高齢者 96人	CES-D	Lubben Social Network Scale (LSNS): 1)家族関係 2)友人関係 3)相互援助関係 得点範囲:0-50	解析:抑うつと各変数との重回帰分析 関連のある項目 教育年数短い 慢性疾患の数多い ネットワーク得点低い 関連のない項目 年齢、性別、ADL、受療頻度
Prince, et al. ³⁰⁾ 1997	ゴスペルオーク在 住の65歳以上の 高齢者889人	うつ病 診断プロ グラム	1)サポートしてくれる友人の数 2)友人との接触頻度	解析:抑うつとの関連について ロジスティック回帰分析 関連のある項目(OR) ADLが低い(1.4-6.5) ライフイベントが多い(2.1-9.0) 年齢(0.2-0.9)、 「痛み」がひどい(1.2-4.0) 関連のない項目 階層、居住形態、友人との接触 サポートしてくれる友人の数

表4-3 抑うつとサポートネットワーク—横断研究(続き)

著者	対象	抑うつ尺度	サポートとネットワークの指標	抑うつとの関連
Roberts et al. ³¹⁾ 1997	アラメダ州在住の 50-97歳の2417人	うつ病診断基準 (DSM)	期待できるソーシャルサポート 1)病院へ連れて行ってくれる 2)食事の準備をしてくれる 3)病気の時、身の回りの世話をしてくれる 4)必要なとき、お金を貸してくれる 社会的孤立状態 1)信頼できる人がいる 2)親しい親戚がいる 3)月に一度は会う友人がいる 4)助けを求められる友人がいる 5)個人的な相談ができる友人がいる 6)アドバイスや情報をもらえる友人がいる	解析:抑うつとの関連について ロジスティック回帰分析(単) 関連のある項目(OR) 女性である(1.5)、配偶者なし(1.7)、 教育12年以下(1.8)、 経済的問題あり(3.5) 慢性疾患多い(3.5) ADLに問題あり(6.3) 身体的健康状態良くない(7.5) 精神的健康状態良くない(19.5) ライフイベント多い(1.9) 近隣との問題あり(2.8) 社会的孤立(3.0) ソーシャルサポート少ない(3.1) 関連のない項目:年齢
Hays, et al. ³²⁾ 1998	ピエドモント在住の 65歳以上の高齢者 599人	CES-D (4因子抽出)	1)信頼できる人からのサポートと満足度 2)友人、家族からの手段的サポート 3)その提供 4)ネットワークサイズ(友人や親戚の数) 5)友人や親戚と会ったり電話したりする頻度	解析:抑うつと各変数との重回帰分析 4因子全てと関連のある項目 ADLが低い 信頼できる人からのサポート少 ライフイベント多い 4因子全てと関連のない項目 年齢、人種
van Grootheest, et al. ³³⁾ 1999	オランダ在住の 55-85歳の2626人	CES-D	9種のメンバーからのサポート:0-36 1)情緒的サポート 2)手段的サポート ネットワークサイズ ネットワークの7種のカテゴリーについて 接触のある人の数	解析:抑うつと各変数との重回帰分析 関連のある項目 配偶者との死別(男で影響大) 情緒的サポートが少ない(男) ネットワークサイズ小さい ADLが低い、慢性疾患が多い 収入に不満、 家事のサポート少ない(女) 関連のない項目:年齢、家事の必要性
Wallsten, et al. ³⁴⁾ 1999	ピエドモント在住の 65歳以上の高齢者 4162人	CES-D	1)手段的サポートとその満足度 2)サポートの提供	解析:抑うつと各変数との重回帰分析 関連のある項目 女性である、低収入である、 サポートへの満足度が低い、 ADLが低い 関連のない項目 年齢、人種、サポート提供 ※ADLの低い人において、手段的サポートは抑うつを高めるが、その満足度が高いほど抑うつは低い

表5 抑うつとストレスおよびサポートネットワーク

著者	対象	抑うつ尺度	ストレスの指標	サポートとネットワークの指標	抑うつとの関連
Krause ³⁵⁾ 1986	テキサス在住 の65歳以上の 在宅高齢者 315人	CES-D	期間:調査以前の1年間 配偶者との死別 犯罪や法的問題 ネットワーク危機 経済的ストレス など、77項目	Inventory of Socially Supportive Behaviors (ISSB): 1)情緒的サポート 2)手段的援助 3)情報サポート 4)社会的交流	解析:抑うつ得点への重回帰分析 ストレスの種類とサポートの組み 合わせにより交互作用があり、 各ストレスによる悪影響は、各 サポートが多いほど、少ない。 配偶者との死別 —情報、情緒、手段サポート 犯罪や法的問題—情緒的 ネットワーク危機 —社会的交流
Russell & Cutrona ³⁶⁾ 1991	アイオワ在住 の65歳以上の 高齢者301人 (6ヶ月後、 12ヶ月後に 再調査)	SDS	期間:調査の1年間、 毎月チェック 1) Geriatric Social Readjustment Rating Scale (GSRRS) 2) Daily Hassles Scale	Social Provision Scale: 1)感情的に強く結ばれている人 2)一緒に社会的活動をする人 3)自分の能力を認めてくれる人 4)必要なとき助けてくれる人 5)人生の重大な決断について 話せる人	解析:抑うつ得点への重回帰分析 関連ある項目 SPS総得点が低い Daily Hassles の得点高い GSRRSの得点高い 関連ない項目 SPSと2つのストレスの指標 との交互作用
Krause, et al. ³⁷⁾ 1992	ニューヨーク 州在住の60歳 以上の高齢者 1551人	CES-Dの 「抑うつ 気分」の 3項目と 「身体 症状」の 3項目	—	サポートの提供 1)他者へのinformal support: 4項目 2)他者へのformal support: 4項目	解析:LISREL(共分散構造分析) サポートの提供のうち、他者 へのinformal support 提供は personal control を高め、 このことが抑うつ気分を低く する。
Glass, et al. ³⁸⁾ 1997	ニューヘブン 在住の65歳以 上の高齢者 1962人 (3年後、6年後 に再調査)	CES-D	期間:調査以前の2年間 友人の移転 配偶者との死別 病院への入院 趣味の喪失、など 12項目	—	解析:抑うつ得点への重回帰分析 関連ある項目 ベースライン時の抑うつ高い 教育年数低い、ADL低い、 ストレスフルライフイベント多い 個別のイベント8項目 関連ない項目 年齢、性別、婚姻状態
Prince, et al. ³⁹⁾ 1997	ゴスペルオー ク在住の65歳 以上の高齢者 654人	うつ病 診断プロ グラム	期間:調査以前の1年間 および2年間 The List of Threatening Event (LTE): 12項目 配偶者との死別 健康状態の悪化 経済的危機 窃盗 関係の終結、など	Social Support Deficits(SSDs): 1)一人暮らし 2)親戚と週一回も会わない 3)近所のサポートなし 4)サポートしてくれる友人が 1人以下 5)子との関係悪い 6)友人からのサポートに不満 得点範囲:0-6	解析:抑うつとの関連について ロジスティック回帰分析 関連ある項目 女性である(1.1-2.7) SSDsの得点高い(4.1-74.3) 住居の変更あり(1.3-4.3) ライフイベント2個以上経験 (1.0-3.3) 関連ない項目:年齢、SSDsと LTEの交互作用

厚生科学研究費補助金（長寿科学総合研究事業）
分担研究報告書

高齢者のネットワークモデルとソーシャルサポートに関する研究

分担研究者 笹谷春美 北海道教育大学札幌校 教授

研究要旨

現代日本において高齢者の有する社会的ネットワークの特色を類型化し、大都市と過疎地の地域的比較および同一サンプルの継続調査による時間的変化の把握を試みた。継続して類型化が可能であった178ケースにおいて両地域とも、家族・友人・近隣のいずれとも交流を持ち地域集団への参加もある統合型が6割をしめ、第1時調査にくらべ家族依存型や近隣中心型の割合は減少した。統合型ではその豊かなネットワーク資源を生かしてサポートネットワークも質量的に最も多様であった。健康面も悪化した割合は少ないがとりわけ統合型は社会的活動も活発で健康度が高い。以上の点から、ネットワークの質量の豊かさが高齢者のウェルビーイングと密接に関連していることが証明された。

A. 研究の目的

本研究の目的は、高齢者のソーシャルネットワークの類型析出を試み、類型毎の活動的な生活やサポートネットワークの違いおよび特色を明らかにすることである。

本研究はまた、現代の日本の高齢者が活動的な生活を持続し生活の質（QOL）を高める上で、彼等の有するソーシャルネットワークがいかなる役割を果たしているのかを明らかにする研究の一貫として位置付けられるものである。

従来、日本の高齢者のネットワークは家族・親族が中心であった。地域の共同体が機能している地域ではこれに近隣が組み込まれていたが、都市化の進んだ地域では地域の共同体は崩壊し、より小さな家族単位にネットワークは縮小化傾向にあることが

指摘されてきた。また、高齢化に伴い人々のネットワークは家族中心に絞られ近隣や友人のネットワーク数も減少することが推測されてきた。本研究は、現代日本における家族構造の急激な変化、平均寿命の伸び、人口の高齢化に伴う要介護高齢者の増加、従来家族内で高齢者のケアやサポートを担ってきた女性の意識や行動の変化等などの中で、高齢者のネットワークはどのような実態なのか、変化しているのかどうかを明らかにすることを目的としている。

以上の目的について、ネットワークモデル（類型）の析出という方法を選択したのは以下の2つの理由からである。第1には、ネットワークの種類や関係の密度によって類型を析出することにより、高齢者の

有するネットワークの特徴を顕在化でき、そのことによって地域やジェンダーの比較を容易にし、また、高齢化に伴う類型の変化も追うことができるからである。

第2には、高齢者のネットワークの類型毎の活動性やサポートネットワークの保有の違いを明らかにすることによって、必要な公的・家族外サポートの提供を有効に行なうことができるのではないかと考えるからである。

B. 研究方法

(これまでの経過)

主任研究者および分担研究者はすでに過疎地夕張市および大都市札幌市における大正10年生まれ・11年生まれの男女を対象とした比較調査を、2度にわたり行なってきた。夕張市は1991年と94年、札幌市は92年と95年のいずれも3年後に継続調査を行なった。第1回の調査と第2回目の調査の基本的データの比較分析および1回目の調査のネットワーク類型の析出とその分析についてはすでに報告済である(岸 1997年、笹谷 1997年)。

(今回の対象と方法)

本報告は第2回目の継続調査の回収データ(夕張市男196 女253 合計409名/札幌市男182 女258 合計440)を対象とし、ネットワーク類型の析出と各類型の生活の活動性とサポートネットワークの比較研究を行なうと同時に、第1回目のネットワーク類型の変化を追うことを中心課題とする。

ネットワークの類型化は以下の指標をクロスさせて行なった。(1) 家族との関係: 息子や娘との行き来の頻度、(2) その他の親族との付き合いの有無、(3) 近隣との付き合いの密度、(3) 親しく行き来する友人の数、(5) 社会集団への参加: 参加集団の内容と数。そうして以下の5つの類型を析出した。

A型: 家族・親族中心型、B型: 家族・

親族・近隣・友人・集団参加の全てに関与しネットワーク数と種類が最も多い型、C型: 近隣中心型、D型: 友人中心型、地縁・血縁に縛られない集団参加が多い、E型: いずれの関係も弱く少ない型以上のネットワーク類型析出の基準を一覧表にしたのが表1である。

(倫理面への配慮)

調査時に対象者に研究の意義を説明し、調査対象者のプライバシーに最大限の配慮をし、実施する。また、データの管理に厳重な配慮を行なう。

C. 研究結果

第2回目の調査データから、A型106ケース、B型260ケース、C型44ケース、D型15ケース、E型18ケースの433ケースが得られた。その分布はそれぞれ24.5%、57.7%、10.2%、3.5%、4.2%であり、B型が6割近くを占め、次ぎがA型で約4分の1、C型が1割、D型とE型はきわめて少なかった。これらの分布と各類型の基本属性を示したのが表2である。

地域別で比較すると図1のように地域差が見られる。全体としてB型が多いが、とりわけ夕張市においてその割合は高く(66%)、逆に札幌市に置いてA型の割合が高い(33%)。C型は数が少ないがやはり札幌において夕張より割合が高いことがわかる。

性別では地域別ほど差はでなかったが、B型が女性において若干割合が高く、D型とE型で若干男性の割合が高かった。

家族構成は全体として「夫婦のみ」が半数を占め、ついで「ひとり暮らし」が多く両者あわせると札幌67%、夕張74%であり、子どもとの同居は少ない。とりわけC型、D型およびE型においては子どもとの同居はゼロである。A型とB型においても高齢者のみの家族構成が主流であるが、「息子家族と同居」という典型的三世

代家族は B 型に最も多く見られ、性別では女性に多い（表 3-1、2）。

健康状態は、非常に健康は約 2 割、普通は札幌 63%、夕張 55% である。弱いや病気は札幌で 15%、夕張で 25% である。概ね健康を保っているが夕張で病弱の高齢者割合が高い。ネットワーク類型では差が見られ、A 型と B 型で健康の割合が高く、逆に C 型、D 型、E 型で病弱の割合が両地域においても高い。子どもとの密なネットワークを有する類型の健康度が高いことを示している（表 4-1、2）。

次に、活動性を見てみると、「この 1 年間にしたことがあること」として高齢者自信が他からケアを受けるのではなくむしろ他の人に対するサポートの経験聞いた。

（表 5-1、2）のように、札幌では B 型が最も多様な活動に関わっており、A 型や C 型も子や孫への贈り物を中心として食事の用意や手伝い、悩み事の相談等に関わる割が多い。夕張も全体として活動の割合は少ないが、札幌と同様の傾向が見られる。

逆になにもしなかった、と答える割合は E 型に最も多く、次に A 型に多い。これは家族とは親密な関係にあるが家族外との関係はあまり有していない A 型と孤立的な E 型とはネットワークの範囲と数が狭いことで共通していることの反映と見られる。このような A と E の共通性は趣味や生きがいの保有の少なさ、高齢者向けの医療・福祉サービスの積極的関わりの低さにも共通に見られた。

最後にサポートネットワークとの関係を押さえておきたい。

2 種類のサポートについて聞いた。一つは病気や怪我のために動けなくなった時に世話を頼める人」という身体的ケアのサポートネットワーク、2 つ目は「悩み事が生じた時相談できる人」という情緒的サポートネットワークである。どちらについても

地域や性別、ネットワーク類型を問わず 9 割近くが「いる」と答えている。しかし、誰がサポーターとして期待できるのか、についてはネットワーク類型によって異なってくるのが明らかにされた。

身体的ケアのサポートネットワークは（表 6-1、2）、A 型は配偶者、息子、娘、嫁の 4 者に限定され、B 型は A 型同様先の 4 者を主としながらも近隣、友人、公的サービスをも選択されている。C 型も 4 者を主としながら札幌では保健婦やヘルパー、民生委員などの公的サービスも選択され、夕張ではこれらのサービスの代わりに近隣が選択されている。夕張では札幌ほど公的サービスの利用が展開されていないためであろう。そしてやはり E 型では家族については配偶者に限定され、その次に民生委員が選択されている。子どもがいない、子との交流が少ないことが反映されている。また D 型と E 型ではネットワークの種類だけでなく量も少ないように思われる。以上の傾向は情緒的サポートネットワークにも同様に見られた（表 7-1、2）。

第 2 の目的である、ネットワーク類型の変化は（図 2-1、2）である。前回に比べ、全体的に B 型と A 型の割合が増加し、C 型が激減しているのが特徴である。地域別にみると、A 型の割合が札幌に多く B 型の割合は夕張に多いという、大都市とかつての炭鉱都市で共同長屋の暮らしが主流であったマチの特性を反映しているのは前回と同じであるが、激減した C 型において札幌と夕張の傾向が逆転しているのが特徴的である。

C 型は近隣関係が主体であるネットワークであり、夕張では前回は A 型よりも B 型について多かった類型であった。D 型と E 型は数が少ないがやはり札幌と夕張の逆転減少が見られた。性別分析では大きな差は見られなかった。

D. 考察

以上のように、第2回目調査のデータ分析を中心に、(1) ネットワーク類型の析出及び各類型と活動性の比較、(2) ソーシャルネットワークとサポートネットワークの連、(3) 高齢化に伴うネットワーク類型の変化について分析を行なってきた。

ネットワーク類型では、最もネットワークの種類と数が多い類型である B 型が圧倒的に多かった。これは、対象者の年代(72歳-73歳)では、多くの高齢者がまだ健康状態も良好で家族や家族外の近隣、友人とも親密な関係を保持し、活動的な生活を維持していることを示している。しかも3年前の前回調査よりもこの類型の割合が増加していることはどのように把握したらよいのであろうか。確かに、これと平行する傾向、つまり、A 型が増加し C 型 D 型が減少するという傾向は、家族外のネットワークを主とする生活から家族内の関係にクローズ化する生活に変化するという従来の定説を示すものとも考えられる。しかし、家族構成の変化を見ると、子どもたちとの同居の割合は増加しているわけでもなく、夫婦のみや一人暮らしの割合の方が増えている。

また、住居も9割が前回と同じであり、子どもとの同居のため動いた気配はない。また、C 型の激減はとりわけ夕張市における C 型の激減によるものと思われる。炭鉱閉山による子どもたちの流出を補っているのが近隣(夕張では近隣と友人が重なる)との密な関係であったが、今回はお互いの高齢化に伴い近隣関係も持てなくなったという考察もなりたつが、前回から3年後にそんなに近隣関係が崩壊するとは考えにくい。そこで考えられる問題点は、子どもとの関係(距離や交流頻度)と参加集団(関与度、積極的参加か消極的参加か等)の項目で前回の調査票と異なるものや欠落した部分が若干あり、類型化において若干の誤差があった点である。そのためか前回では578 ケースがいずれかの類型に組み込まれた

が、今回は433 ケースにとどまった。また、前回と今回でいずれかの類型に組み込まれ、同一ケースの変化を追えるのは178 ケースのみであった。つまり、現在の高齢者の有するネットワークの種類と量はもっと多様で表1の類型化の指標では把握しきれないケースが多数でてくるのが明らかとなった。

しかし、今回の433 ケースという限られた数であるが、ソーシャルネットワークとサポートネットワークの相関は確認された。

家族中心のネットワークの A 型は配偶者、息子や娘を中心としたサポート資源に限定され家族外の資源の活用等は出てこない。同様に、E 型は最もネットワークが貧弱であり、サポート資源は配偶者に限定されがちである。しかしこの型は子どもがいて、ひとり暮らしや夫婦のみの高齢者世帯が多いため、すでに民生委員の世話の対象となっているなど本人が積極的になれば公的サポートを受けやすい層である。B 型は豊かなネットワークを持っており、サポートネットワークもそれを反映して多様である。C 型と D 型は高齢になっても子どもとは同居せず自立的生活を維持しようとする人々が多い欧米型の類型であるが、これらが少なく、A や B 型が多いということは、現代日本ではまだ家族、とりわけ子ども世代へ様々のサポートを期待する価値観が根強いことを物語っている、と言える。しかしネットワーク類型の基準がもう少し変わったら類型の分布はもう少し変わる可能性があるが、より豊かなネットワークを日頃有していることが活動的な QOL の高い生活を維持することができることが論証された。

E. 結論

限られたデータ数であったが、高齢者の有するソーシャルネットワークといざ何かが起った時のサポートネットワークとは相

関していることが明らかにされた。従って、家に閉じ籠りな高齢者を家庭外に引き出し、多様な人との交流を保持するためのネットワークの組織化が地域の高齢者の医療や福祉に携わる専門家たちの課題として改めて要求されている。そのためには、対象高齢者のネットワークの実態を把握する必要があり、それをサポートする手段としてネットワーク類型を決める基準を提示しようと考えたが、本研究で用いた類型の基準では約半数弱が類型からはずれてしまうという問題が浮かびあがった。

平成13年度は、第2回目から5年後、最初の調査からは8年が過ぎたので第3回目の follow 調査を試みる。そのためにも類型化の基準について精査し、回答者全員の類型変化を追えるようにすることが課題である。

F. 学会発表・論文

笹谷春美、「高齢者のネットワーク類型と地域ケア」(同上) 115-131頁 1997

笹谷春美 「ホームヘルプ労働の専門性：ケアワークとジェンダーの視点から」 木本喜美子他『女性労働とジェンダー』ミネルヴァ書房、2000年5月刊行予定

(学会発表)

笹谷春美「家族構造の変容と新たな社会的ネットワークの可能性」第51回日本人口学会(北海道東海大学) 1999.6.5-6

笹谷春美「家族ケアリングの構造分析」平成12年度日本社会学会発表予定(広島大学) 2000.11-12

表1 ネットワーク類型の指標

	A型	B型	C型	D型	E型
息子・娘有り	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
無し			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(息子・娘行き来)					
毎日	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
週1-2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
月1-2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
年数回	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
盆暮れのみ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
行き来無し	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(家族構成)					
ひとり暮らし	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
夫婦のみ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
未婚子と同居	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
既婚子と同居	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
(友人数)					
1-2人	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
3人以上		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
いない	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
(近隣関係)					
悩みごとなど相談		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
みやげの交換		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
挨拶程度	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
つきあい無し	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(行き来する親戚数)					
1-2人	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3人以上		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
いない	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(参加集団)					
町内会	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
老人クラブ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
その他趣味等集団		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
参加していない	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>

図 1

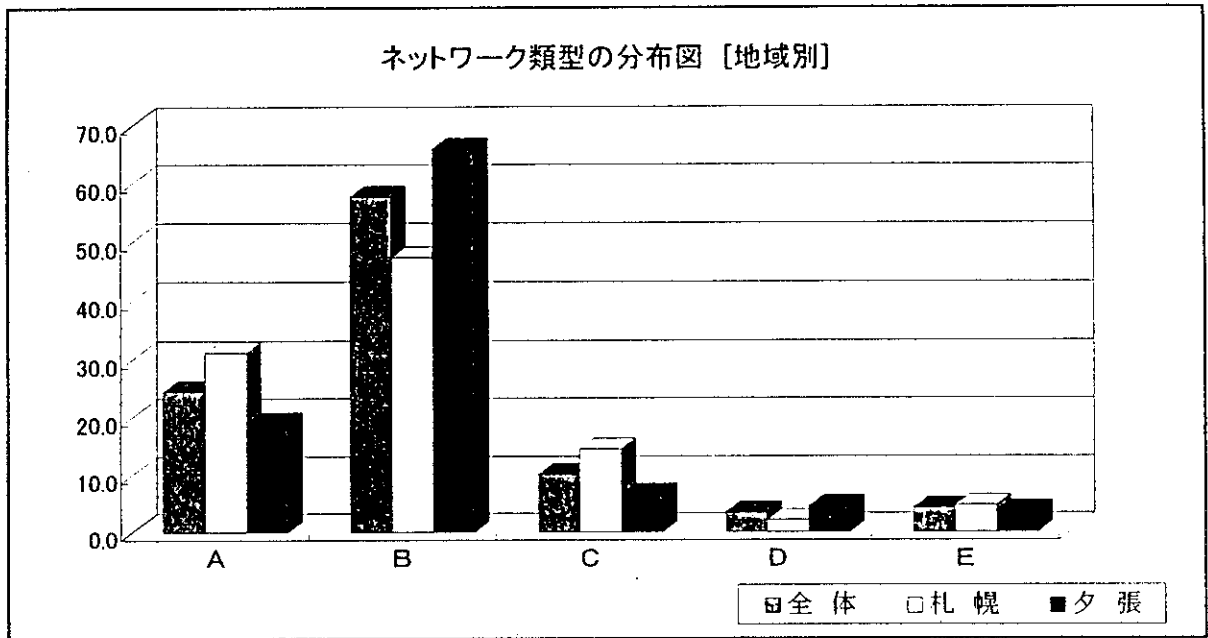


表2 ネットワーク類型の属性

(上段：人数 下段：比率)

		A	B	C	D	E	計
回答者		106 24.5	250 57.7	44 10.2	15 3.5	18 4.2	433 100.0
地域	札幌	60 31.3	91 47.4	28 14.6	4 2.1	9 4.7	192 100.0
	夕張	46 19.1	159 66.0	16 6.6	11 4.6	9 3.7	241 100.0
性別	男性	51 25.4	107 53.2	21 10.4	9 4.5	13 6.5	201 100.0
	女性	55 23.7	143 61.6	23 9.9	6 2.6	5 2.2	232 100.0
家族構成	ひとり暮らし	21 24.1	41 47.1	11 12.6	5 5.7	9 10.3	87 100.0
	夫婦のみ	46 20.9	124 56.4	32 14.5	9 4.1	9 4.1	220 100.0
	まだ結婚していない息子と同居	11 37.9	18 62.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	29 100.0
	まだ結婚していない娘と同居	8 42.1	11 57.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	19 100.0
	息子の家族と同居	11 22.4	38 77.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	49 100.0
	娘の家族と同居	8 47.1	9 52.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	17 100.0
	その他	1 10.0	7 70.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	10 100.0
	無回答	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
	収入	5万円未満	5 33.3	7 46.7	1 6.7	2 13.3	0 0.0
	5~7万円未満	8 40.0	8 40.0	2 10.0	1 5.0	1 5.0	20 100.0
	7~10万円未満	8 23.5	21 61.8	2 5.9	1 2.9	2 5.9	34 100.0
	10~12万円未満	8 25.0	13 40.6	6 18.8	0 0.0	5 15.6	32 100.0
	12~15万円未満	12 30.0	23 57.5	2 5.0	3 7.5	0 0.0	40 100.0
	15~20万円未満	12 15.6	49 63.6	4 5.2	5 6.5	7 9.1	77 100.0
	20~30万円未満	29 21.3	88 64.7	17 12.5	0 0.0	2 1.5	136 100.0
	30~40万円未満	11 28.2	19 48.7	6 15.4	3 7.7	0 0.0	39 100.0
	40~50万円未満	5 27.8	11 61.1	1 5.6	0 0.0	1 5.6	18 100.0
	50万円以上	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	8 36.4	11 50.0	3 13.6	0 0.0	0 0.0	22 100.0
健康	非常に健康	20 23.3	53 61.6	10 11.6	0 0.0	3 3.5	86 100.0
	普通(たまに病気を する)	63 24.7	153 60.0	22 8.6	10 3.9	7 2.7	255 100.0
	弱い(病気がち)	17 21.5	39 49.4	11 13.9	5 6.3	7 8.9	79 100.0
	病気で長く ねている	5 50.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	10 100.0
	無回答	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0

図 2-1 ネットワークタイプの分布図 [地域別]

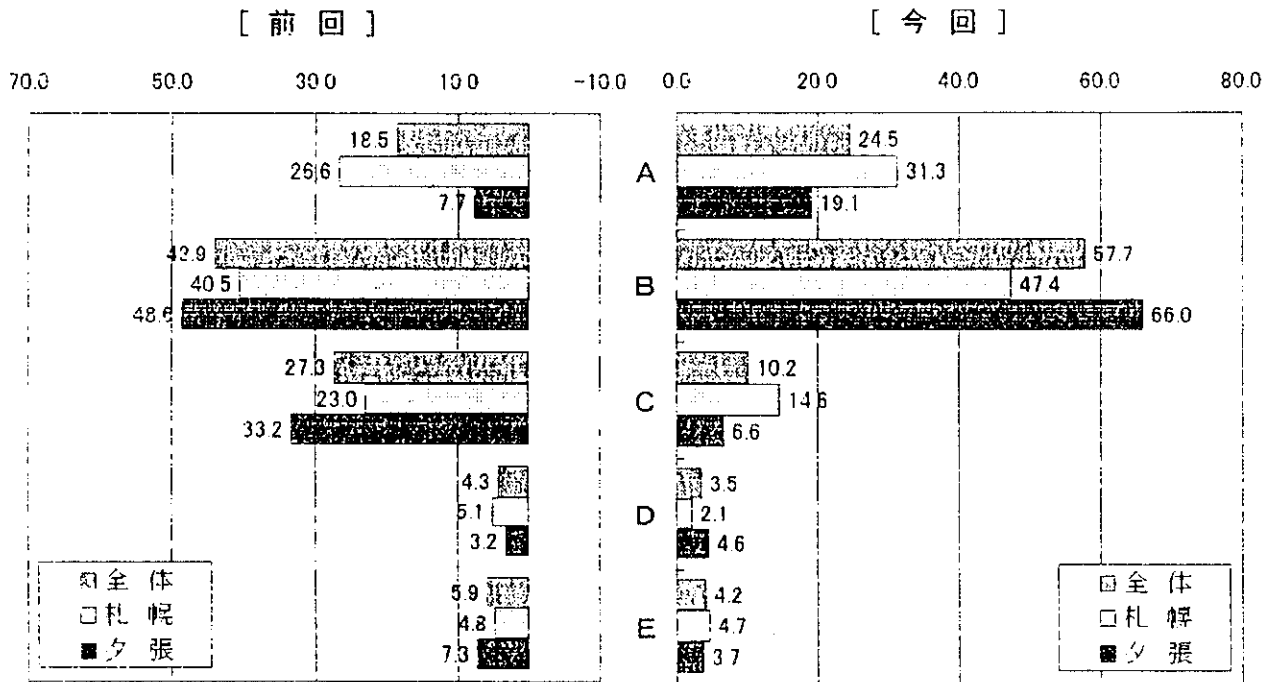


図 2-2 ネットワークタイプの分布図 [性別]

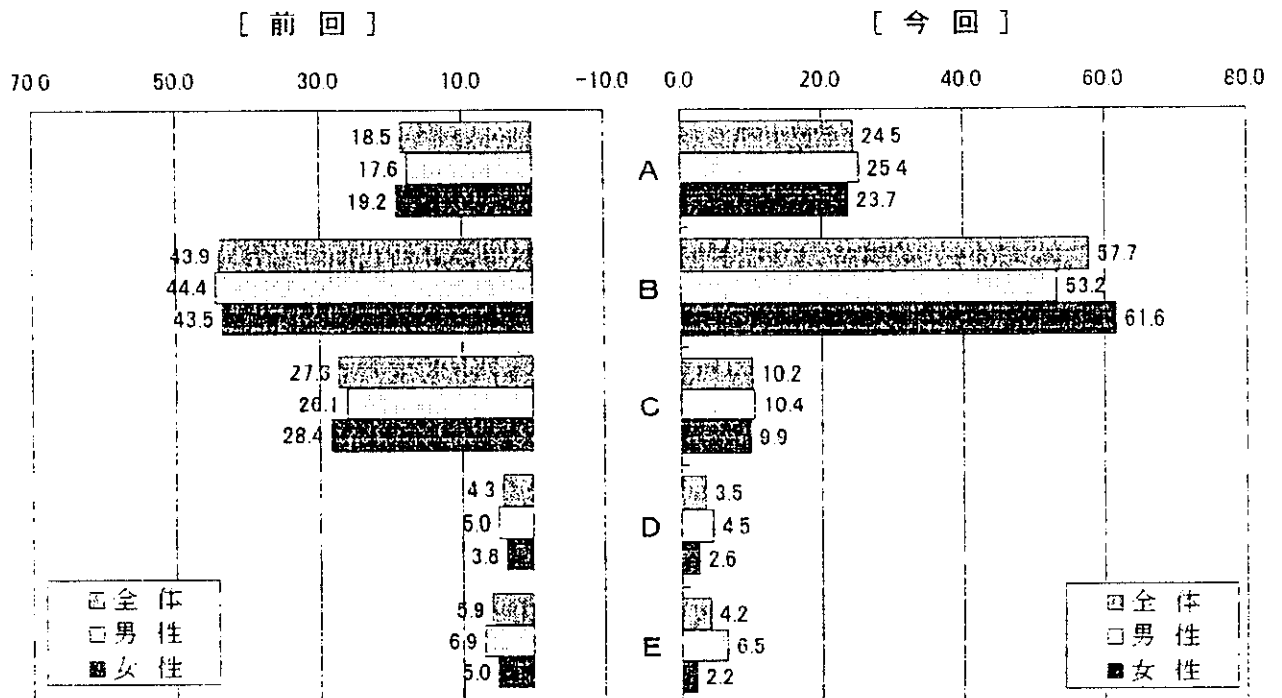


表 3-1 家族構成

【札幌】

	A			B			C			D			E			総計
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	
ひとり暮らし	3	8	11	2	13	15	1	5	6	2	0	2	4	2	6	40
夫婦のみ	9.1	29.6	18.3	5.3	24.5	16.5	7.7	33.3	21.4	100.0	0.0	50.0	57.1	100.0	66.7	20.8
	20	7	27	20	16	36	12	9	21	0	2	2	3	0	3	89
まだ結婚していない息子と同居	60.6	25.9	45.0	52.6	30.2	39.6	92.3	60.0	75.0	0.0	100.0	50.0	42.9	0.0	33.3	45.4
	3	3	6	3	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
まだ結婚していない娘と同居	9.1	11.1	10.0	7.9	5.7	6.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3
	3	2	5	3	5	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3
息子の家族と同居	9.1	7.4	8.3	7.9	9.4	8.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.8
	2	3	5	6	11	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.2
娘の家族と同居	6.1	11.1	8.3	15.8	20.8	18.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.5
	2	4	6	3	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.0
その他	6.1	14.8	10.0	7.9	1.9	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.2
	0	0	0	0	3	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	3.3	0.0	6.7	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1
	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	0.0	0.0	0.0	2.6	1.9	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
総計	33	27	60	38	53	91	13	15	28	2	2	4	7	2	9	192
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表3-2 家族構成

【夕張】

	A			B			C			D			E			総計
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	
ひとり暮らし	1	9	10	5	21	26	2	3	5	2	1	3	1	2	3	47
夫婦のみ	5.6	32.1	21.7	7.2	23.3	16.4	25.0	37.5	31.3	28.6	25.0	27.3	16.7	66.7	33.3	19.5
	13	6	19	44	44	88	6	5	11	5	2	7	5	1	6	131
まだ結婚していない息子と同居	72.2	21.4	41.3	63.8	48.9	55.3	75.0	62.5	68.8	71.4	50.0	63.6	83.3	33.3	66.7	54.4
	2	3	5	8	4	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
まだ結婚していない娘と同居	11.1	10.7	10.9	11.6	4.4	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
	1	2	3	1	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
息子の家族と同居	5.6	7.1	6.5	1.4	2.2	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
	1	5	6	7	14	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27
娘の家族と同居	5.6	17.9	13.0	10.1	15.6	13.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.2
	0	2	2	2	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
その他	0.0	7.1	4.3	2.9	3.3	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9
	0	1	1	2	2	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	6
無回答	0.0	3.6	2.2	2.9	2.2	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	9.1	0.0	0.0	0.0	2.5
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	18	28	46	69	90	159	8	8	16	7	4	11	6	3	9	241
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表4-1 健康状態

【札幌】

	A		B		C		D		E		総計		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性			
	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計			
非常に健康	10	2	12	8	8	16	4	4	8	0	0	2	38
普通(たまたま病気をする)	30.3	7.4	20.0	21.1	15.1	17.6	30.8	26.7	28.6	0.0	0.0	28.6	19.8
弱い(病気がち)	19	20	39	24	41	65	7	5	12	1	2	3	122
病気で長くねている	57.6	74.1	65.0	63.2	77.4	71.4	53.8	33.3	42.9	50.0	50.0	42.9	63.5
	3	4	7	5	2	7	2	5	7	1	2	1	25
	9.1	14.8	11.7	13.2	3.8	7.7	15.4	33.3	25.0	50.0	50.0	14.3	13.0
	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	4
	0.0	3.7	1.7	0.0	1.9	1.1	0.0	6.7	3.6	0.0	0.0	14.3	11.1
無回答	1	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	3
	3.0	0.0	1.7	2.6	1.9	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6
総計	33	27	60	38	53	91	13	15	28	2	4	7	192
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表4-2 健康状態

【夕張】

	A		B		C		D		E		総計		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性			
	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計			
非常に健康	4	4	8	20	17	37	2	0	2	0	0	1	48
普通(たまたま病気をする)	22.2	14.3	17.4	29.0	18.9	23.3	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	16.7	19.9
弱い(病気がち)	8	16	24	36	52	88	4	6	10	6	2	8	133
病気で長くねている	44.4	57.1	52.2	52.2	57.8	55.3	50.0	75.0	62.5	85.7	50.0	72.7	55.2
	4	6	10	12	20	32	2	2	4	1	2	3	54
	22.2	21.4	21.7	17.4	22.2	20.1	25.0	25.0	25.0	14.3	50.0	27.3	22.4
	2	2	4	1	1	2	0	0	0	0	0	0	6
無回答	11.1	7.1	8.7	1.4	1.1	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
総計	18	28	46	69	90	159	8	8	16	7	4	11	241
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表5-1 この1年にしたことがあること

【札幌】

	A		B		C		D		E		総計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計		
食事の用意や手伝い	17	18	35	64	5	11	16	0	2	2	0	117
	51.5	66.7	58.3	70.3	38.5	73.3	57.1	0.0	100.0	50.0	0.0	60.9
孫のもりや世話	3	4	7	17	2	0	2	0	0	0	0	26
	9.1	14.8	11.7	18.7	15.4	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	13.5
看病や世話	8	3	11	28	3	2	5	0	1	1	0	45
	24.2	11.1	18.3	30.8	23.1	13.3	17.9	0.0	50.0	25.0	0.0	23.4
悩み事の相談	13	8	21	60	7	4	11	1	1	2	1	95
	39.4	29.6	35.0	77.4	53.8	26.7	39.3	50.0	50.0	50.0	14.3	49.5
子や孫へのおくりもの	23	22	45	75	10	12	22	2	2	4	3	149
	69.7	81.5	75.0	94.3	76.9	80.0	78.6	100.0	100.0	100.0	42.9	77.6
ボランティア活動	7	1	8	44	3	2	5	0	0	0	0	57
	21.2	3.7	13.3	48.4	23.1	13.3	17.9	0.0	0.0	0.0	0.0	29.7
どれもしていない	4	3	7	3	0	2	2	0	0	0	4	18
	12.1	11.1	11.7	3.3	0.0	13.3	7.1	0.0	0.0	0.0	57.1	9.4
回答者	33	27	60	91	13	15	28	2	2	4	7	192
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表5-2 この1年にしたことがあること

【夕張】

	A		B		C		D		E		総計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計		
食事の用意や手伝い	5	4	9	44	0	1	1	1	2	3	2	59
	27.8	15.4	20.5	28.0	0.0	12.5	6.3	14.3	50.0	27.3	33.3	24.9
孫のもりや世話	1	0	1	35	1	1	2	1	1	2	0	40
	5.6	0.0	2.3	22.3	12.5	12.5	12.5	14.3	25.0	18.2	0.0	16.9
看病や世話	0	0	0	12	0	0	0	1	0	1	0	13
	0.0	0.0	0.0	7.6	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	9.1	0.0	5.5
悩み事の相談	0	0	0	30	0	0	0	1	0	1	0	31
	0.0	0.0	0.0	19.1	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	9.1	0.0	13.1
子や孫へのおくりもの	12	15	27	130	6	7	13	4	3	7	3	181
	66.7	57.7	61.4	82.8	75.0	87.5	81.3	57.1	75.0	63.6	50.0	76.4
ボランティア活動	1	1	2	43	3	0	3	0	0	0	0	48
	5.6	3.8	4.5	27.4	37.5	0.0	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0	20.3
どれもしていない	3	10	13	14	0	0	0	2	1	3	2	34
	16.7	38.5	29.5	8.9	0.0	0.0	0.0	28.6	25.0	27.3	33.3	14.3
回答者	18	26	44	157	8	8	16	7	4	11	6	237
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表6-1 動けなくなった時に助けを頼む人

【札幌】

	A		B		C		D		E		総計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
配偶者	29	10	33	25	58	12	6	18	0	1	3	119
	87.9	40.0	86.8	47.2	63.7	92.3	40.0	64.3	0.0	50.0	0.0	37.5
娘	14	12	17	27	44	5	6	11	0	1	0	82
	42.4	48.0	44.7	50.9	48.4	38.5	40.0	39.3	0.0	50.0	0.0	43.4
息子	18	12	15	24	39	6	7	13	1	0	1	84
	54.5	48.0	39.5	45.3	42.9	46.2	46.7	46.4	50.0	0.0	0.0	44.4
嫁	11	5	6	20	26	4	6	10	0	0	0	52
	33.3	20.0	15.8	37.7	28.6	30.8	40.0	35.7	0.0	0.0	0.0	27.5
婿	4	1	1	9	10	2	0	2	0	0	0	17
	12.1	4.0	2.6	17.0	11.0	15.4	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	9.0
兄弟	1	0	1	7	6	2	1	3	1	0	0	18
	3.0	0.0	1.7	18.4	11.3	15.4	6.7	10.7	50.0	0.0	0.0	9.5
姉妹	4	1	5	4	14	0	2	2	1	0	1	27
	12.1	4.0	8.6	10.5	26.4	19.8	0.0	13.3	7.1	50.0	0.0	14.3
その他の親戚	3	1	4	2	9	1	2	3	0	1	1	20
	9.1	4.0	6.9	5.3	17.0	12.1	7.7	13.3	10.7	0.0	50.0	10.6
近所	1	0	1	1	10	1	0	1	1	0	1	14
	3.0	0.0	1.7	2.6	18.9	12.1	0.0	6.7	3.6	50.0	0.0	7.4
友達	1	0	1	1	13	14	0	0	1	0	1	17
	3.0	0.0	1.7	2.6	24.5	15.4	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	9.0
民生委員	1	0	1	1	3	4	1	2	3	0	0	10
	3.0	0.0	1.7	2.6	5.7	4.4	7.7	13.3	10.7	0.0	0.0	5.3
町内会役員	1	0	1	1	2	3	0	1	1	0	0	5
	3.0	0.0	1.7	2.6	3.8	3.3	0.0	6.7	3.6	0.0	0.0	2.6
保健婦や訪問看護婦	1	0	1	0	1	1	0	3	3	0	0	5
	3.0	0.0	1.7	0.0	1.9	1.1	0.0	20.0	10.7	0.0	0.0	2.6
市のヘルパー	1	0	1	0	1	1	0	3	3	0	0	5
	3.0	0.0	1.7	0.0	1.9	1.1	0.0	20.0	10.7	0.0	0.0	2.6
家政婦等の有料サービス	1	0	1	2	4	6	0	1	1	0	0	8
	3.0	0.0	1.7	5.3	7.5	6.6	0.0	6.7	3.6	0.0	0.0	4.2
その他	0	0	0	0	3	3	0	1	1	0	0	5
	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	3.3	0.0	6.7	3.6	0.0	0.0	2.6
回答者	33	25	58	38	53	91	13	15	28	2	4	189
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表6-2 動けなくなった時に助けを頼む人

【夕張】

	A		B		C		D		E		総計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計		
配偶者	10	6	16	47	104	6	4	10	5	2	7	142
	55.6	23.1	36.4	83.8	66.2	75.0	50.0	62.5	71.4	50.0	63.6	80.0
娘	5	14	19	54	99	5	5	10	4	1	5	135
	27.8	53.8	43.2	66.2	63.1	62.5	62.5	62.5	57.1	25.0	45.5	40.0
息子	11	12	23	48	104	4	3	7	2	1	3	139
	61.1	46.2	52.3	70.6	66.2	50.0	37.5	43.8	28.6	25.0	27.3	40.0
嫁	2	8	10	28	67	1	1	2	0	1	1	80
	11.1	30.8	22.7	41.2	42.7	12.5	12.5	12.5	0.0	25.0	9.1	0.0
婿	0	1	1	12	31	0	1	1	0	1	1	34
	0.0	3.8	2.3	17.6	19.7	0.0	12.5	6.3	0.0	25.0	9.1	0.0
兄弟	1	1	2	14	29	1	1	2	1	0	1	34
	5.6	3.8	4.5	20.6	18.5	12.5	12.5	12.5	14.3	0.0	9.1	0.0
姉妹	0	1	1	15	20	1	1	2	1	1	2	40
	0.0	3.8	2.3	22.1	22.3	12.5	12.5	12.5	14.3	25.0	18.2	0.0
その他の親戚	1	0	1	9	11	0	1	1	1	0	1	23
	5.6	0.0	2.3	13.2	12.4	0.0	12.5	6.3	14.3	0.0	9.1	0.0
近所	1	0	1	18	26	2	0	2	1	0	1	48
	5.6	0.0	2.3	26.5	29.2	25.0	0.0	12.5	14.3	0.0	9.1	0.0
友達	1	0	1	12	21	0	0	0	0	0	0	34
	5.6	0.0	2.3	17.6	23.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
民生委員	2	0	2	7	10	0	0	0	0	0	0	14.5
	11.1	0.0	4.5	10.3	11.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
町内会役員	2	0	2	9	8	0	0	0	0	0	0	20.5
	11.1	0.0	4.5	13.2	9.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
保健婦や訪問看護婦	0	1	1	3	4	0	0	0	0	0	0	34
	0.0	3.8	2.3	4.4	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
市のヘルパー	1	1	2	2	3	0	1	1	0	0	0	20
	5.6	3.8	4.5	2.9	3.4	0.0	12.5	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0
家政婦等の有料サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	1	1	1	1	2	0	0	0	0	0	3
	0.0	3.8	2.3	1.5	1.1	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
回答者	18	26	44	68	89	8	8	16	7	4	11	234
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表7-1 悩み事相談

【札幌】

	A		B		C		D		E		総計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計		
配偶者	29	10	39	25	57	13	8	21	2	2	2	121
	87.9	40.0	67.2	84.2	49.0	100.0	53.3	75.0	0.0	100.0	50.0	33.3
娘	12	13	25	16	30	5	8	13	0	1	0	85
	36.4	52.0	43.1	42.1	58.8	38.5	53.3	48.4	0.0	50.0	25.0	0.0
息子	18	11	29	15	27	9	8	17	1	1	2	90
	54.5	44.0	50.0	39.5	52.9	69.2	53.3	60.7	50.0	50.0	50.0	0.0
嫁	8	2	10	5	16	2	6	8	0	0	0	39
	24.2	8.0	17.2	13.2	31.4	15.4	40.0	28.8	0.0	0.0	0.0	0.0
婿	2	1	3	2	11	2	2	4	0	0	0	20
	6.1	4.0	5.2	5.3	21.6	15.4	13.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
兄弟	2	0	2	11	10	3	3	6	1	0	1	30
	6.1	0.0	3.4	28.9	19.6	23.1	20.0	21.4	50.0	0.0	25.0	0.0
姉妹	3	2	5	5	17	1	6	7	1	0	1	36
	9.1	8.0	8.6	13.2	33.3	7.7	40.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0
その他の親戚	3	1	4	7	7	1	2	3	0	1	1	23
	9.1	4.0	6.9	18.4	13.7	7.7	13.3	10.7	0.0	50.0	25.0	0.0
近所	1	0	1	3	8	0	1	1	0	0	0	13
	3.0	0.0	1.7	7.9	15.7	0.0	6.7	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0
友達	2	1	3	6	15	1	1	2	1	0	1	29
	6.1	4.0	5.2	15.8	29.4	7.7	6.7	7.1	50.0	0.0	25.0	0.0
民生委員	1	1	2	1	3	1	4	5	0	0	0	12
	3.0	4.0	3.4	2.6	5.9	7.7	26.7	17.9	0.0	0.0	0.0	0.0
町内会役員	1	0	1	2	4	1	2	3	0	0	0	10
	3.0	0.0	1.7	5.3	7.8	7.7	13.3	10.7	0.0	0.0	0.0	0.0
保健婦や訪問看護婦	2	0	2	0	1	0	1	1	0	0	0	5
	6.1	0.0	3.4	0.0	2.0	0.0	6.7	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0
市のヘルパー	1	0	1	0	0	0	2	2	0	0	0	4
	3.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	13.3	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0
家政婦等の有料サービス	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	3.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	6.7	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	3
	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9	2.2	0.0	6.7	3.8	0.0	0.0	0.0
回答者	33	25	58	38	51	13	15	28	2	4	5	185
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0